全国からの総応募数3,720点から

八十里越を象徴する橋梁とトンネルの名称を決定


八十里越天空大橋

2号橋梁 → 馬追沢橋（まごいざわはし）
5号橋梁 → 八十里越天空大橋（はちじゅうりごえてんくうおおはし）
8号トンネル → 丸倉トンネル（まるくら）
9号トンネル → 八十里越トンネル（はちじゅうりごえ）

高校生が橋名板を揮毫

八十里越を新たな未来へつなげていきたいという願いを込め、新潟県側と福島県側　合計11橋の名前を示す橋名板を、三条市と只見町の高校６校に揮毫（きごう）いただきます。





インタビュー

八十里越が開通したら…

8月22日開催「しただふるさと祭り」でお話を伺いました！

質問
❶八十里越が来年夏に開通することをご存知ですか？
❷八十里越が開通したらどんなことをしてみたいですか？
❸福島の人に三条市のどんなところをピーアールしたいですか？

下田の良いところをピーアールしたい


大竹 福男さん

❶知っています。秘境八十里越体感バスに参加したことがあり、徒歩でも10時間かけて吉ヶ平から入叶津（いりかのうつ）まで行ったことがあります。下田の田植え作業が一区切り着く頃南会津の田植え作業が始まるので、親の代は出稼ぎに行っていたものです。
❷そばが好物なので、福島のそばを食べに行ってみたいです。
❸下田のおいしいそば、風光明媚なところをピーアールしたいです。

子どもたちの活動で交流を

Hさんご家族

❶知っています。
❷登山が趣味で、尾瀬に行くときはこれまで入広瀬（いりひろせ）から登っていましたが、開通したら別のルートから登ってみたいです。
❸子どもが通う小学校では動物を飼育しています。他にも各学校でさまざまなことに取り組んだり、イベントをしたりしています。福島の人たちに三条の子どもたちの活動を紹介し、交流し合えたらいいですね。

観光で福島に行きたいし、三条にも来てほしい

❶知っています。
❷先日会津に行きましたが、今度は八十里越を経由するルートでも行ってみたいです。これから福島の観光スポットを調べて観光してみたいです。
❸三条のキャンプ場などを紹介したいです。日本海にも行きやすくなると思うので、ぜひ三条で観光や買い物をしてもらいたいです。

Fさんご家族


松井さんご家族

福島のおいしいものを求めて

❶知っています。
❷ドライブしたいです。以前テレビ番組で紹介されていた福島のご当地パンを買いに行きたいです。
❸こちらのお米がおいしいところなどを紹介したいです。



八十里越でつながるお出かけスポット

只見町観光サイト

南会津町観光サイト

民間・地域主導による交流へ

三条市、只見町、南会津町の3市町の行政や関係者による連携会議などを通じて密接な関係が築かれています。民間の交流からも、下田産そば粉の麺や、南会津の鹿革を使い三条の鍛冶技術により加工されたアウトドア用品など、双方の強みを融合した特産品が生まれています。



南会津町長
渡部 正義さん

開通による時間短縮や太い交通軸の形成に大きな期待を寄せています。これまでの北関東方向に加え、新潟の港や空港を活用した物流、燕三条・南会津・日光を結ぶ広域観光ルートの展開など、連携の可能性は広がります。この動きを、今後は行政主導から民間レベルへ広げ、地域経済を潤す「稼ぐ力」へと高めていくことが鍵となります。

南会津町は、四季折々の美しい自然と、温泉やスキー場などの豊富な地域資源に恵まれた町です。厳選された南会津特有の「GI*酒」「南郷（なんごう）トマト」「会津田島アスパラガス」など、自慢の食も豊富に揃っています。開通を機に、三条市をはじめとする多くの皆さんに南会津の魅力を体験いただけることを楽しみにしています。

*GI(Geographical Indication)：
その地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因の中で育まれてきた品質、社会的評価等の特性を有する産品の名称を、地域の知的財産として保護する地理的表示

新たなビジネスや地域のにぎわいに期待

長年の悲願であった八十里越の開通が来年夏に決まって感無量です。

只見町との交流は、平成22年に下田商工会の呼び掛けで始まりました。翌年の水害を乗り越え、秋の交流事業でバス２台を笑顔で迎えたことが深く印象に残っています。只見町の焼酎醸造所において下田の米を用いた焼酎造りをするなど、双方で信頼関係を築いてきました。現在２市町の建設業協会で災害連携協定の準備を進めていますが、今後は民間部門でのさらなる連携が重要になると考えています。

地域の魅力が凝縮した「道の駅」、国道289号沿線の飲食店など、訪れた人が素通りせず周遊できる仕掛けづくりも欠かせません。開通記念事業実行委員会としては、開通式で「下田の大蛇」や「太鼓演奏」を披露するなど、只見の皆さんと一緒に記憶に残るイベントを企画したいですね。

只見町には絶景や温泉、十割そばなど魅力があふれています。開通を機に双方の人々が行き交い、新たなビジネスや地域のにぎわいが生まれることを期待しています。



三条市商工会顧問
（八十里越開通記念事業実行委員会 会長）
渡辺 定一さん

温かくお迎えしたい

三条の皆さんとは、「しただふるさと祭り」や「三条マルシェ」への出店を通じて親しく交流させてもらっています。国道252号を通って当店へ来てくださる方も多く、三条の皆さんには本当にかわいがってもらっています。

八十里越が開通するとアクセスが大幅に良くなります。現在、開通の記念になるような、国道289号にちなんだ特別メニューを考案中です。お店では、そばの薬味に「唐辛子のしょうゆ麹漬け」をわさびの代わりに添えたり、桑の葉、藤の花、カンゾウなど季節の山菜天ぷらといった“天然の恵み”を提供したりしています。

只見町には河井継之助記念館などの歴史や、田子倉（たごくら）ダム、美しいブナ林など、春の新緑から秋の紅葉まで見どころが満載です。開通後は交通量が増えるため事故などへの注意も必要ですが、地域全体で皆さんを温かくお迎えしたいと思っています。ぜひ八十里越を通って只見・入叶津へお越しいただき、ゆったりとした時間をお過ごしください。



ヤマサ商店（只見町）
佐藤 弘・順子 ご夫妻